

問 答



秀峰大山を望む（大殿地内）

高塚 これからの地方都市の苦悩は、少子化、過



高塚 禮二

町長 国の三位一体の改革も霧の中で、国は十八年度までの全体像は示しているが、伯耆町での具

体的な内容はよくわからない。収入が減少した時に、どのように地域社会が変わっていくのか、真剣にかつ危機感をもって考える必要がある。

十年二十年後のイメージとしては、収入が減少する部分を町民で知恵を

行財政改革

危機の中の伯耆町行財政改革について 真剣に危機感をもって考える必要がある

出し肩代わりしていく事が求められる時代になると考えている。

住民参画

まちづくり委員会はどのようにするが 住民参画システムの一つにする



野坂 明典

野坂 「あなたが主役」「協働のまち伯耆町」な

どといわれていたが、まちづくり委員会をどうするのか。
委員の人選は公募すべきと思うがどのようにするのか。
住民参画が出来るシステムがなければ「協働のまち」は出来ないと思うが

町長 まちづくり委員会は住民参画システムの一つとし、また地域リーダーの育成を図る目的もある。

町長はどう考えているか。情報の公開がなければ、住民参画は出来ないが、どのようにするのかお伺いする。
委員の大半を公募し、合併まちづくり委員会での取り組みを理解する方を町が推薦し委員になっていただく。
住民が事業に参画し行政と住民の、住民と住民団体とのパートナーシップを構築する協働のまちづくりをする。
情報の公開は住民参画の観点や町民の声を行政に反映する視点からよりよいタイミング、内容で



まちづくり委員会

町政を

若者定住対策

若者定住にどのように取り組んでいく考えか 定住化事業の継承と共働き世帯の支援を行う



奥野 弘

奥野 「私の周りで、近年、高校の段階で親元を

離れ就職したり、大学に行き、卒業しても帰ることなく都市の企業に就職してしまう若者が多くなってきたが、残された人々が親だけになれば、高齢化は進んで、過疎化がさらに進むという悪循環になる。

町内で働く場所といえは公共事業によって成り立っている建設業、役場、商工会、JA等が主流で、伯耆町で職を求めるのは無理。公営も一般住宅事情も悪いとなれば、若者は結婚と同時に米子市などに住み核家族化する。

伯耆町の過疎化、少子化対策にもなる、若者定住にどのように取り組んでいく考えであるか。
町長 旧両町が取り組んできた企業誘致はもとより、定住化事業を継承するとともに、乳幼児施設の整備や保育所統合整備事業により、共働き世帯の支援を行い、定住化人口の拡大や新たな流入人口の増大に努めたい。



大山ピバレッツ (金屋谷地内)

地域防災

地域防災計画の策定と防災拠点整備を 十七年度中に策定し校舎の耐震化は検討する



勝部 博史

勝部 地震、風水害等の自然災害、事故や火災等

全国各地で地域住民の生命、財産を脅かす災害が後を絶たない。
町長の最大の責務は、町民の安全を確保することだと思ふ。

防災、危機管理体制の充実が喫緊の課題である。伯耆町地域防災計画の策

定はいつか。鳥取県西部地震より五年の節目であるが、防災行事を行っているが、地域防災についてはどうか。地域防災について町長はどう考え対応するか伺う。

町長 防災計画は十七年度中に策定する。防災行事は県と西部市町村が連

携し「総合防災訓練」が十月に計画されている。
勝部 学校は地域防災の拠点である。校舎の耐震診断及び工事計画は。
町長 新町まちづくり事業で計画されており、教育委員会で検討する。



米子消防署溝口出張所

自然災害、事故や火災等

防災、危機管理体制の充実が喫緊の課題である。伯耆町地域防災計画の策

町長 防災計画は十七年度中に策定する。防災行事は県と西部市町村が連